

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個23事08

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾管理事務所コンテナ担当課長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先	0567-55-2953
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する					
事務事業名	08 荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備の維持管理	継続	維持	維持	連絡先	0567-55-2953
目的	公共ガントリークレーン及び飛島ふ頭、金城ふ頭、稲永ふ頭等の受変電設備を良好な状態で使用できるようにします。				事業期間	昭和43年度～継続
概要	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備を点検・検査し、不良箇所の修理を行います。				根拠法令等	クレーン等安全規則、クレーン構造規格、電気事業法
					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	公共ガントリークレーンについて、法定定期自主検査(月例検査、年次検査)を実施し、発見した不良箇所については修理を行い、稼働率100%を目標に努めております。飛島ふ頭、金城ふ頭、稲永ふ頭等の受変電設備については、各施設への安定した電力供給のため、年間を通して夜間・閉庁日を含め監視及び点検を行い、安定稼働率100%を目標に努めております。				関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	各設備の点検業務を予定通り実施することができました。公共ガントリークレーンの稼働率及び各受変電設備の安定稼働率については概ね目標数値を達成できました。公共ガントリークレーンの停止時に関しては、早急な対応により利用者への影響を最小限に努めることができました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費計	千円	510,349	430,451	699,546	647,445	651,584	(款項目節) 一般: 建設費/整備費/受託工事費/工事請負費 港営費/運営費/施設運営費/委託料 企業: 施設運営事業費/営業用費/荷役機械運営費/委託料等 (算出計算式)
一般会計	千円	510,349	430,451	699,546	385,013	412,588	事業費:関係する委託及び工事費の合計 人員費:全業務に対する対象業務割合を算出(その他) 事業費については最終確定額ではありません
事業会計 施設運営事業会計	千円				262,432	238,996	
その他	千円						
人員費計	千円	89,739	80,156	92,528	91,027	94,990	
正規職員	人	9.40	9.34	10.91	10.56	10.63	
嘱託職員	人	1.89	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	600,088	510,607	792,074	738,472	746,574	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
公共ガントリークレーン検査回数(回)	目標	143	110	108	107	103	108	クレーン等安全規則等に定められた定期自主検査の回数を合計します。 (H24年度の回数は南3号の停止期間(4~12月)があり減少)
	実績	143	110	108	107	103		
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
公共ガントリークレーン稼働率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	荷役中のクレーン停止回数を少なくし、稼働率を向上させます。 稼働率=(荷役回数-荷役中クレーン停止回数)÷荷役回数 実績は最終確定値ではありません
	実績	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0		
	達成率(単年度%)	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						「港湾法及び特定外貿埠頭の管理運営に関する法律の一部を改正する法律」による、港湾民営会社制度に関する議論と併行して、整理すべき課題と考えます。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
効率性	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
平成24年度に作成した維持管理計画の詳細編を基本とし、施設の状態及び重要度を勘案した予算要求を行うことにより、維持管理費用の急激な増加の抑制に引き続き取り組めます。				